

AREC・Fi iプラザ 第231回リレー講演会(金属加工・プラスチック成形)

■日時：令和3年(2021年)2月10日(水) 14:00～17:10

■会場：Zoomによるオンライン開催

■お申込みいただいたメールアドレスにZoomの招待URLをお送りします。

講演1

14:00～15:00

【演題】「3Dデジタル生産技術実装化研究拠点の紹介」

講師：長野県工業技術総合センター 材料技術部門 金属材料部 部長 若林 優治 氏

【概要】長野工業技術総合センターでは、内閣府の地方創生拠点整備交付金を活用し、長野市の材料技術部門に、製品の設計から試作、評価までを一貫して支援する「3Dデジタル生産技術実装化研究拠点」の整備を進めており、令和3年4月に運用開始を予定しています。今回、金属積層造形装置をはじめ、拠点に導入予定の各種設備や拠点の概要についてご紹介します。また、関連する長野県工業技術総合センターの事業や、取り組み等についてもご紹介します。

講演2

15:00～16:00

【演題】「金型製作事業の深化に必要な取組」

講師：株式会社柳原製作所 取締役 製造部/管理部 部長 柳原 大介 氏

【概要】当社は、金属加工業として創業60年を過ぎた現在、「金型製作」を自社内で一貫通貫できる体制を構築し顧客ニーズに対応してきました。外部環境の変化、働く人々の意識の変化、地域人口減少など、今後の問題・課題解決に対して自社事業をどのように深化させる必要があるか。現状の自社取組事例を交えて説明します。

休憩 10分

講演3

16:10～17:10

【演題】「2軸延伸ブロー成形の最新動向と展開」

講師：株式会社フロンティア 開発センター長 部長 甘利 史哉 氏

【概要】当社はPET樹脂などの各種熱可塑性樹脂を2軸延伸ブロー成形する技術を駆使し様々な分野に成形機の開発・販売を行なっています。樹脂製ボトルはその利便性から広範囲に使用され、環境問題の観点から現在業界では3R、バイオプラ化と両方のアプローチが検討され適材適所での賢い使い方を考える必要があります。容器に対するニーズは多様化しより付加価値の高い要求に対応することが求められています。ブロー成形機メーカーとして軽量化など環境を考えた取組みも含め、PETボトルが歩んできた歴史的背景入れた上で最新の動向を紹介します。

●お申し込み先 AREC・Fi iプラザ事務局 宛

申込フォーム <https://forms.gle/Wd7Sou5YRrL35jFk8>

または 電話 (0268-21-4377) FAX (0268-21-4382) [メール \(mousikomi@arecplaza.jp\)](mailto:mousikomi@arecplaza.jp)

AREC・Fi iプラザ 第231回リレー講演会 参加申込書 (金属加工・プラスチック成形)

企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		